

2006-2007

製品別安全性能  
比較評価一覧

# チャイルドシート アセスメント

チャイルドシートは、  
安全性能で選びましょう。



国土交通省



独立行政法人自動車事故対策機構

# チャイルドシート 安全性能試験

## INDEX

**乳児用** 対象:体重10kg未満用  
進行方向に対して後ろ向きに使用

ガブリオレ<コンビ株>	7
オートベビープラス<グレコ>	7
レーマー・ベビーセーフプラス<株ヤナセ>	7
PAOPAOPeビーNS<株東海理化電機製作所>	7
スーパーキャリー<株日本育児>	7
プリムベビー<コンビ株>	8
スーパーキャリー<株日本育児>	8

**乳児用・幼児用(兼用タイプ)**

パミオウーノ<リーマン株>	8
エールベベ・ズット<株カーメイト>	9
takata04-comfyN<タカタ株>	9
レカロスタートゼロプラス<レカロ株>	9
takata04-system3.0<タカタ株>	10
ピピデビューN<リーマン株>	10
トヨタ G-Child plus<タカタ株>	10
takata04-neo<タカタ株>	11
パミオデビューDX<リーマン株>	11
プリムロング<コンビ株>	11
ミリブ6000<タカタ株>	12
エールベベ・くるっとEX<株カーメイト>	12
ゼウスターンEG<コンビ株>	12
ピピデビュー<リーマン株>	12
ネオシスファースト2.5S<コンビ株>	13

**乳児用・幼児用(兼用タイプ) ベッド型含む**

ニューボーンベッドイージーターンWEアーサーモ<アップリカ葛西株>	13
ニューボーンベッドイージーターン<アップリカ葛西株>	13
ニューボーンベッドワイド&ロング<アップリカ葛西株>	14
マシュマロベッドWサーモ<アップリカ葛西株>	14
マシュマロJターンネオサーモ<アップリカ葛西株>	14

**幼児用** 対象:体重9~18kg以下用  
進行方向に対して前向きに使用

プリオリXP<コンビ株>	15
NEWトラベルベスト<株日本育児>	15
ブオンキッズEG<コンビ株>	15
エールベベ・さらっと3ステップ<株カーメイト>	15
パワーベスト<エムズシンテック株>	16
レーマー・キングTSプラス<株ヤナセ>	16
ハイバックブースター<株日本育児>	16
ハイパーベスト<全国防災事業協業組合>	16
プリムキッズ<コンビ株>	17
ファンキッズ<株ミクニ>	17
レーマー・ロード<株ヤナセ>	17
エールベベ・プレシールド<株カーメイト>	17
PAOPAOPeチャイルドフォービー<株東海理化電機製作所>	17

## チャイルドシートアセスメントとは?

国土交通省と自動車事故対策機構は、自動車アセスメントの一環として、平成13年度から市販のチャイルドシートについて、前面衝突試験と使用性評価試験による評価を行い、その結果をチャイルドシートの安全性能として公表しています。

チャイルドシートアセスメントの目的は、信頼できる安全性能評価を公表して、より安全な製品を選択しやすい環境を整えるとともに、製作者によるより安全な製品の開発を促すことによって、安全なチャイルドシートの普及を促進しようとするものです。チャイルドシートのご利用の前に、ぜひ「チャイルドシートアセスメント」をお読みください。

なお、今回の試験対象製品は、新基準、米国基準及び欧州基準に適合した製品のうち、平成17年4月から平成18年9月までの1年半の出荷台数等(輸入品を含む。)を勘案して上位のものを基本に選定し、あわせて、チャイルドシートメーカー等から申し出のあったものも対象としています。



乳児用

適用体重10kg未満  
身長が70cm以下  
新生児から1歳くらい

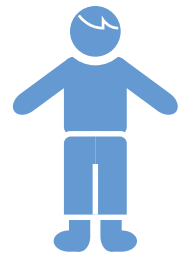
(ベビーシートと  
呼ばれることもあります)



幼児用

適用体重9~18kg  
身長が65~100cm  
1歳~4歳くらい

(チャイルドシートと  
呼ばれることもあります)



学童用

適用体重15~36kg  
身長が135cm以下  
4歳~15歳くらい

(ジュニアシートと  
呼ばれることもあります)



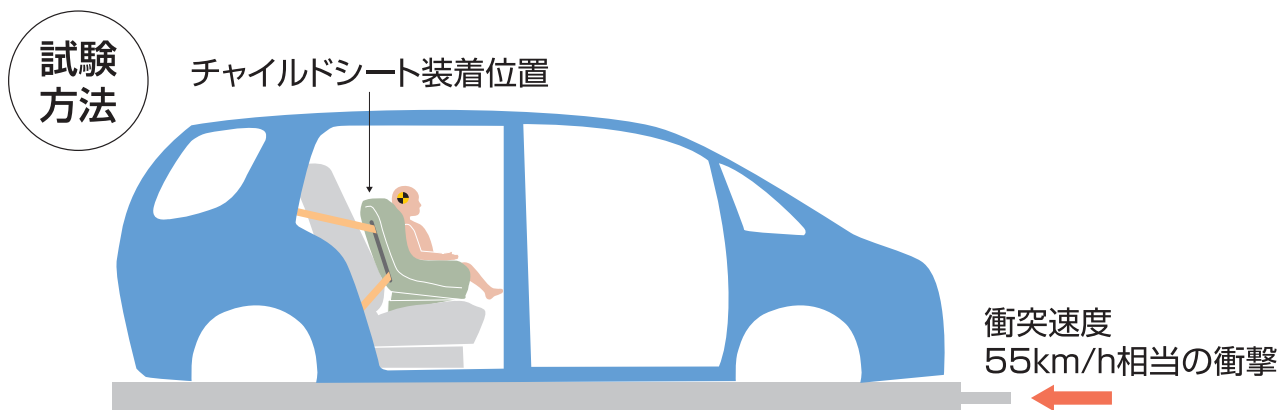
1台のチャイルドシートで、乳児用と幼児用が兼用できる「乳児・幼児兼用」もあります。

学童用は車両のシートベルトの性能によるものが大きいということでアセスメントの対象としていません。

2001年から試験を実施していますが、過去の製品につきましてはホームページをご覧ください。

注:対象となる体重、身長、年齢は目安です。

## 前面衝突試験

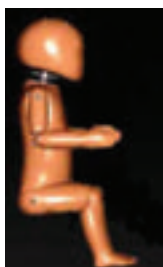


前面衝突試験は、試験用車両の2列目右側座席に取り付けたチャイルドシートに子供ダミーを乗せて、自動車の前面衝突時と同様の衝撃を試験用車両の前面に発生させます。その時、ダミーの頭部、胸部が受けた衝撃やダミー頭部の挙動などでチャイルドシートの安全性能を評価しています。



- より高い安全性能を評価する観点から国の安全基準における衝突試験の速度の1割増しの55km/hで実施しています。
- 試験用車両には、トヨタ・エスティマを使用しています。なお、別の車種で試験を行った場合は結果が異なる可能性があります。
- 平成14年度の乳児用チャイルドシート（後ろ向き）の試験において、ダミー頭部の初期姿勢の違いにより試験結果に影響を及ぼした可能性があるとの指摘により、次年度以降の試験において、ダミー頭部をチャイルドシートに接触させて試験を実施しています。
- 平成15年度の試験より、幼児用チャイルドシートの腹部圧迫の程度について評価を行うため面圧計を使用した定量的な測定を行いました。

### 試験に使う子供ダミー



**CRABI 6MO**  
体重:7.4kg  
身長:671mm  
乳児用ベッド型



**TNO P3/4**  
体重:9.0kg  
身長:708mm  
乳児用後ろ向き



**Hybrid-III 3YO**  
体重:15.5kg  
身長:945mm  
幼児用

## 使用性評価試験

チャイルドシートが実際に使用される際、誤った取り付けなどが多数、見受けられます。使用性評価試験は、ユーザーが自動車の座席にチャイルドシートを取り付ける際に、確実に取り付けられるように配慮されているかなどを、複数のチャイルドシートの専門家が判定しています。



# 前面衝突試験の評価方法

## 乳児用

### A 衝突によるチャイルドシート取付部等の破損

- ◎チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
- ×強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

### B 衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）

- ◎胸部合成加速度 $\leq 539\text{m/s}^2$  (55G)
  - 胸部合成加速度 $> 539\text{m/s}^2$  (55G)
- ※衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

### C 衝突時のチャイルドシートのシートバックの傾き（角度）

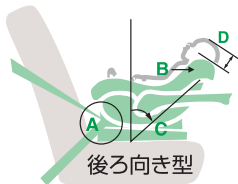
- ◎シートバックの傾き $\leq 60^\circ$
  - $60^\circ <$ シートバックの傾き $\leq 70^\circ$
  - ×シートバックの傾き $> 70^\circ$
- ※衝突時にシートバックが倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

### C 衝突時のチャイルドシート底面の傾き

- ◎ベッドの底面が水平より前方に傾かない（頭部のはみ出しなし）
  - ベッドの底面が水平まで傾く（頭部のはみ出しなし）
  - ×ベッドの底面が前方に傾くまたは頭部のはみ出し
- ※衝突時にベッド底面が前方に倒れすぎると、背中以外で荷重を受け、肩等に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。

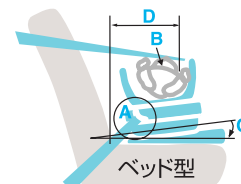
### D 衝突時のチャイルドシート上端面から頭部のはみ出し

- ◎頭部のはみ出しがない
  - 頭部のはみ出しが73mm以内
  - ×頭部のはみ出しが73mmを超える
- ※衝突時に子供の頭部がチャイルドシート上端面から大きくはみ出すと、頸部に負担がかかり、傷害を受ける危険性があります。



### D 衝突時の頭部の前方への移動量

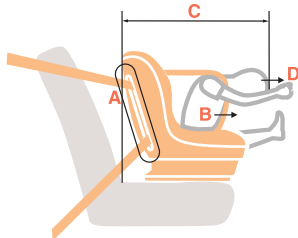
- ◎頭部移動量 $\leq 600\text{mm}$
  - $600\text{mm} <$ 頭部移動量 $\leq 750\text{mm}$
  - ×頭部移動量 $> 750\text{mm}$
- ※衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。



### 衝突時に生じたその他の事象

- ×衝突時にバックルが解離した
- ×衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した

## 幼児用



パッド ハーネス シールド



※幼児用の場合、ハーネスやシールド等が肩および骨盤において身体を拘束する必要があります。これらの拘束が適切でなく、身体の弱い部分（頸部、腹、股間等）を圧迫して身体を拘束している場合が該当します。また、腹部への圧迫について面圧計を用いて測定し、その値が1.38kNを超える場合は、「×」としています。

### A 衝突によるチャイルドシート取付部等の破損

- ◎チャイルドシート取付部等の破損がない
- 軽微な破損（亀裂等）があるが、拘束が保持されている場合等
- ×強度を保持している部分の破損であって、本来の構造をとどめていない場合等

### B 衝突によって胸部に生じる力（胸部合成加速度）

- ◎胸部合成加速度 $\leq 588\text{m/s}^2$  (60G)
  - 胸部合成加速度 $> 588\text{m/s}^2$  (60G)
- ※衝突時に子供の胸部に発生する加速度が大きいと、胸に傷害を受ける危険性があります。

### C 衝突時の頭部の前方への移動量

- ◎頭部移動量 $\leq 550\text{mm}$
  - $550\text{mm} <$ 頭部移動量 $\leq 700\text{mm}$
  - ×頭部移動量 $> 700\text{mm}$
- ※衝突時に子供の頭部が前方に移動しすぎると、前席に衝突し、傷害を受ける危険性があります。

### D 衝突によって頭部に生じる力（頭部合成加速度）

- ◎頭部合成加速度 $\leq 784\text{m/s}^2$  (80G)
  - 頭部合成加速度 $> 784\text{m/s}^2$  (80G)
- ※衝突時に子供の頭部に発生する加速度が大きいと、頭部に傷害を受ける危険性があります。

### 衝突時に生じたその他の事象

- ×衝突時にバックルが解離した
- ×衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出した
- ×衝突時において、ハーネスが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等幼児に傷害を与えるおそれがある

## 評価方法

優

◎が4つの場合（×が1つでもある場合は除く。）

普通

「優」、「良」および「推奨せず」に該当しない場合

良

◎が3つ、○が1つの場合（×が1つでもある場合は除く。）

推奨せず

評価項目の中で1つでも×があった場合

より高い安全性能を評価する本試験の観点からは、推奨するに至らないことを表しており、使用不可という意味ではありません。試験対象とした製品は、全て安全基準に適合しており一定レベルの安全性は確保されています。

# 使用性評価試験の評価方法

## 取扱説明書等

### 取扱説明書等

- 取り付けおよび装着について説明がある。技術基準に定めるすべての記述がある。
- 取り付けおよび装着について、図版と文章で理解ができる。
- 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める表記がある。
- 取り付けおよび装着について子供の体格別に説明がされている。
- 取り付け後の確認方法が記載されている。

### 梱包箱の表示

- 対象となる体重、身長の内いずれかが表示（日本語）されている。技術基準に定める表示・適合基準表示がある。

## 装着性（チャイルドシートへの子供の着座）

### ハーネス

- スロット位置が分かりやすい。
- 調節が簡単かつ確実にできる。

### バックル

- 簡単な操作で確実なロックができる。
- 子供が解除しにくい解除力である（40N以上）。

### 着座状態

- 専門家がダミーを1分未満で適切に着座させられる。



## 本体表示

### 表示内容

- 取り付け方法の表示がある。
- 助手席装着時の警告がある。技術基準に定める注意・警告がされている。
- 表現が適切で、誤解が生じない。
- 製品の問い合わせ先が表示されている。
- 製品が適合する基準が表示（マーク等でも可）されている。

### ベルトガイド

- 文字によって表示している。

## 本体機構

### 可動機構（リクライニング・回転の操作性）

- 確実にロックする。レバースイッチの位置がわかりやすい。

### シートカバー（メンテナンスの容易性）

- シートカバーを脱着した場合、ハーネス等の取り付けが間違えにくく、確実に取り付けられる。

## 取付性（車の座席への取り付け）

### ベルト・ルーティング

- 間違えにくく、通しやすい。車両側ベルトのねじれや折れが発生しない。

### 固定の確実性

- 一人で容易に確実な締め付けができる（体重をかけなくてもよい）。
- 固定金具等は使いやすく、十分な固定ができる。
- 前向き等：取り付け後ぐらつきがない。（10kgfで上部を引き寄せた時、移動量が3cm以上、5cm未満）。後ろ向き：シートバックの角度が45度±10度未満である（車両シートとの間に何かかましてもよい）。

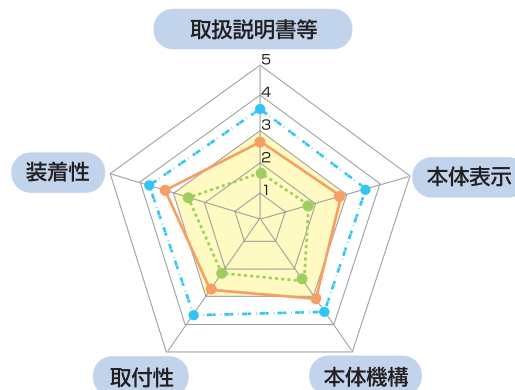


## 評価方法

内容ごとに点数をつけ、評価項目ごとの平均点を表示します。

### 線の色分け

- 乳児用（後ろ向き型）
- 乳児用（ベッド型）
- 幼児用





# 試験結果の見方 下記凡例は乳児・幼児用(兼用タイプ)です。

## チャイルドシート種類



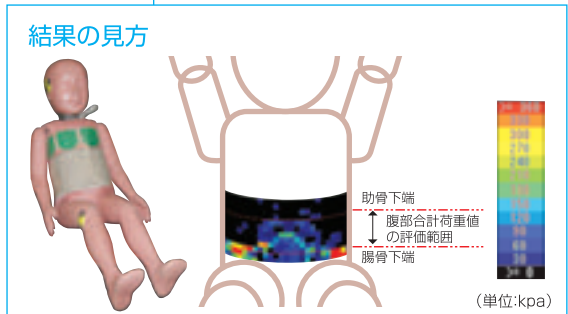
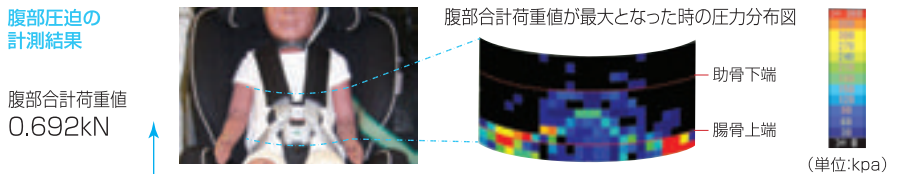
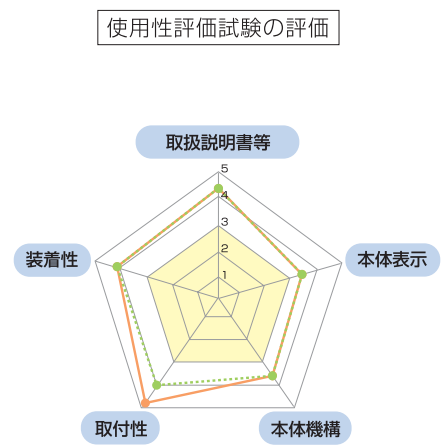
使用性の評価項目ごとの点数をレーダーチャートで表示しています。チャイルドシートの種類別に線が色分けされています。

### 線の色分け

- 乳児用(後ろ向き型)
- 乳児用(ベッド型)
- 幼児用

注1) 試験対象製品の写真 通称名 注4) メーカー名 国土交通省型式指定番号  
 現行基準適合品 ○○○○○○ 希望試験機種 (2006年度実施) (株)○○○○ ①C-※※※※ E4304※※※※

前面衝突試験の評価	乳 児		使用性評価試験の評価
	乳 児	幼 児	
破 損			各項目の評価結果を◎、○、×で表示
シートバックの傾き			
頭部のはみ出し			
頭部の前方への移動量			
頭部に生じる力			
胸部に生じる力			
その他の事象(腹部圧迫計測結果含む)			
評価			



### ダミー腹部への面圧計の装備

衝突時に幼児の腹部を圧迫するチャイルドシートがあるため、試験時にダミー腹部に面圧計を装着して腹部圧迫の程度を定量的に測定しています。  
 腹部とみなされる肋骨の下端から骨盤(腸骨部分)の上端にかかる荷重の総和を腹部合計荷重として、その値が幼児の身体に傷害を与えるとみなされる1.38kNを超える場合は「その他の事象」の評価を「×」としています。

### 注意ポイント

- ①試験に使用している3歳児ダミー(Hybrid-III 3Y0)は人体と同じではなく、腹部は約30mm以上凹まない構造となっています。一方、胸部は約40mm以上凹まない構造となっており、腹部の凹み量と異なっています。このため、限界まで圧迫が加わると、胸部と腹部の圧力を正しく計測できません。
- ②腹部合計荷重が最大となった時の圧力分布図については、最大荷重が発生した時間の圧力分布の状況を見やすくしたものであり、実際の面積とは異なります。

注1) 適合基準の呼び方が変わりました。

**新基準適合品** 2006年10月施行された国内基準に適合したものの。なお、国内基準とは現行の国連基準(ECE規則第44号第4改訂版)と同じものです。

**旧国連基準適合品** 旧国連基準(ECE規則第44号第3改訂版)に適合したものの。

**現行基準適合品** 2000年1月に施行された国内基準に適合したものの。2006年10月に新基準が策定されていますが、現在販売されているチャイルドシートが改正前の基準に適合しているため、便宜上「現行基準適合品」と呼称しています。

**米国基準適合品** FMVSS No.213に適合したものの。

注2) 取扱説明用等のビデオが同封してある場合はこのマーク で表示しています。これは評価の対象とはしていません。

注3) 15年度の対象製品から試験時の製品の重量を○.○kg で表示しています。これは評価の対象とはしていません。

注4) 希望試験機種とは、チャイルドシート製作者等からの申し出によるものです。

※各項目の評価結果は、チャイルドシートを正しい使用状態で試験を行った結果であり、正しい使用状態でない場合は、本来の機能が発揮されません。



# 乳児用

対象:体重10kg未満用 進行方向に対して後ろ向きに使用

旧国連基準適合品 **ガブリオレ** (2005年度実施)

コンビ(株)

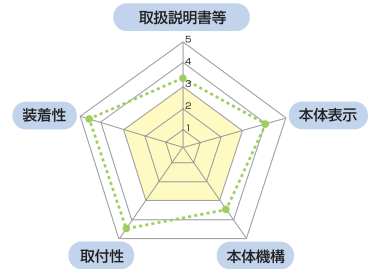


3.1kg



前面衝突試験の評価	乳児
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>

使用性評価試験の評価



旧国連基準適合品 **オートベビープラス** (2004年度実施)

グレコ

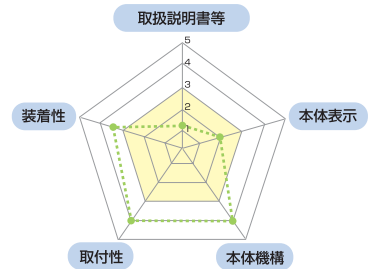


3.3kg



前面衝突試験の評価	乳児
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	○
その他の事象	なし
<b>評価</b>	<b>良</b>

使用性評価試験の評価



旧国連基準適合品 **レーマー・ベビーセーフプラス** (2003年度実施)

(株)ヤナセ

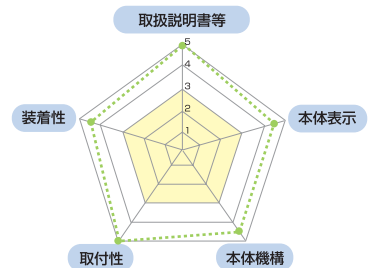


3.3kg



前面衝突試験の評価	乳児
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>

使用性評価試験の評価



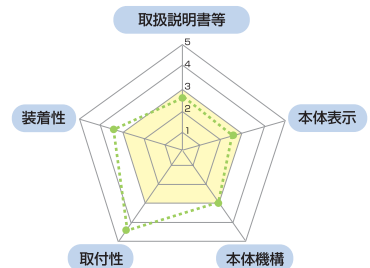
現行基準適合品 **PAOPA0ベビーNS** (2002年度実施)

(株)東海理化電機製作所 ©C-1007/©C-157



前面衝突試験の評価	乳児
破損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>

使用性評価試験の評価



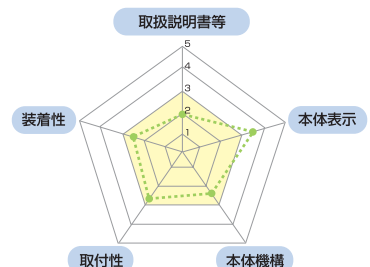
米国基準適合品 **スーパーキャリー**<sup>※</sup> 希望試験機種 (2002年度実施)

(株)日本育児



前面衝突試験の評価	乳児
破損	○
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
<b>評価</b>	<b>良</b>

使用性評価試験の評価



※座席への固定については、3点式固定により試験を実施した。

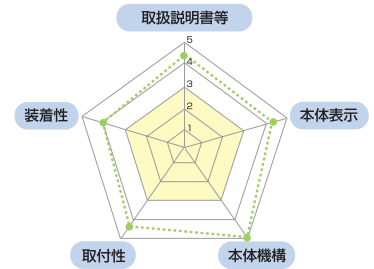
現行基準適合品 **プリムベビー** (2001年度実施)

コンビ(株) ①C-1010/②C-146



前面衝突試験の評価	乳 児
破 損	◎
シートバックの傾き	◎
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>

使用性評価試験の評価



米国基準適合品 **スーパーキャリー**\* (2001年度実施)

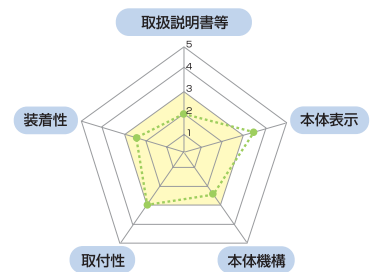
(株)日本育児



前面衝突試験の評価	乳 児
破 損	○
シートバックの傾き	×
頭部のはみ出し	◎
胸部に生じる力	◎
その他の事象	なし
<b>評価</b>	<b>推奨せず</b>

\*座席への固定については、2点式固定により試験を実施した。

使用性評価試験の評価



## 乳児用・幼児用 (兼用タイプ)

新基準適合品 **パミオウノ** (2006年度実施)

リーマン(株) E<sub>8</sub> 044159

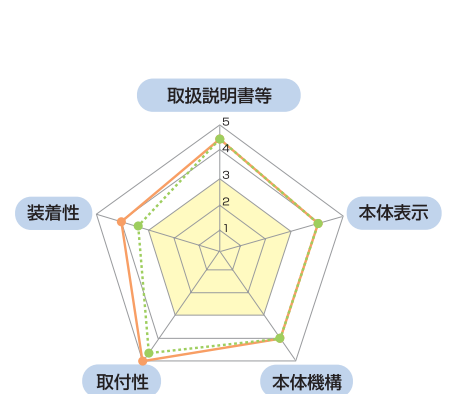


6.7kg



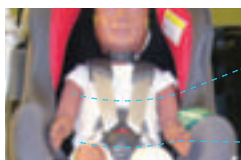
前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	○	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>良</b>	<b>普通</b>

使用性評価試験の評価

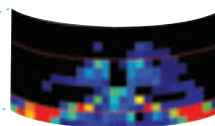


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.627kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



助骨下端  
腸骨上端



(単位:kpa)



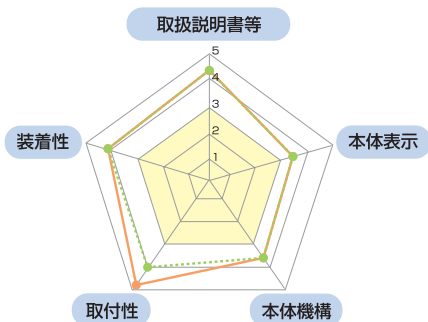


8.3kg



前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>良</b>

使用性評価試験の評価

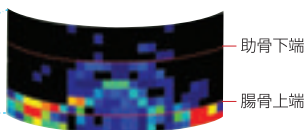


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.692kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位:kpa)

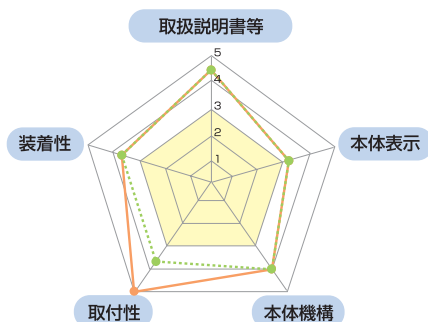


7.0kg



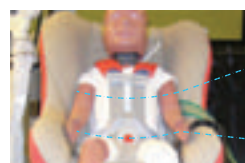
前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>良</b>

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.471kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位:kpa)

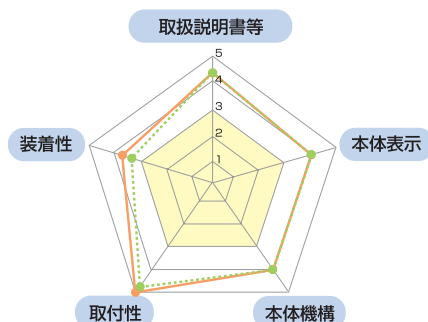


6.3kg



前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>良</b>

使用性評価試験の評価

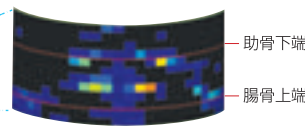


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.438kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



(単位:kpa)

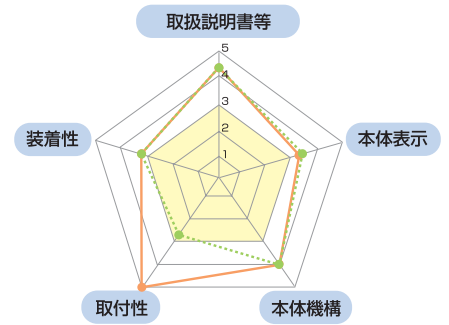


5.8kg



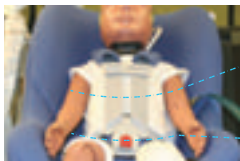
前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>良</b>

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.318kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端  
腸骨上端

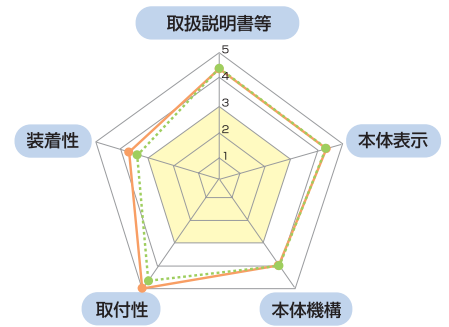


6.2kg



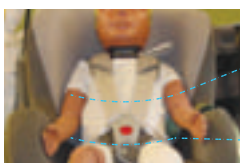
前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>良</b>

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.306kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端  
腸骨上端

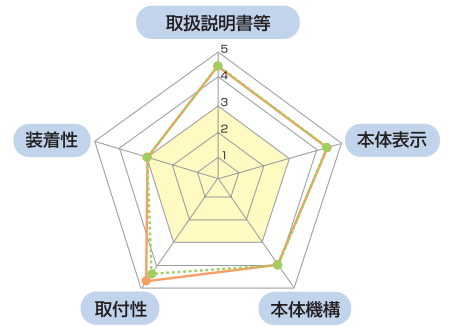


6.7kg



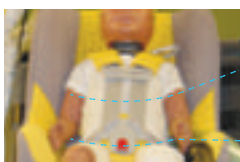
前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	◎	◎
シートバックの傾き	◎	—
頭部のはみ出し	◎	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	◎
胸部に生じる力	◎	◎
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>良</b>

使用性評価試験の評価

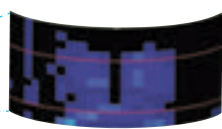


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.224kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端  
腸骨上端



現行基準適合品

## takata04-neo (2004年度実施)

タカタ(株) ©C-2046

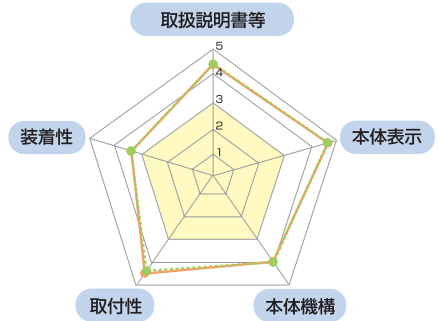


10.0kg



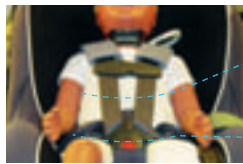
前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	○	○
シートバックの傾き	○	—
頭部のはみ出し	○	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	○	○
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>優</b>

使用性評価試験の評価

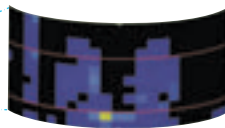


腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.199kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端  
肋骨上端



(単位:kpa)

現行基準適合品

## パミオデビューDX 希望試験機種 (2003年度実施)

リーマン(株) ©C-2039

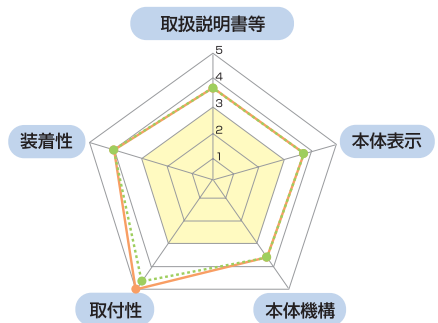


6.0kg



前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	○	○
シートバックの傾き	○	—
頭部のはみ出し	○	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	○	○
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>普通</b>

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.462kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端  
肋骨上端



(単位:kpa)

現行基準適合品

## プリムロング (2003年度実施)

コンビ(株) ©C-2030

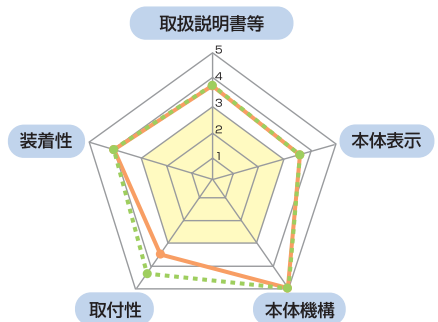


7.4kg



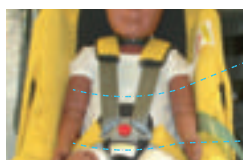
前面衝突試験の評価	乳 児	幼 児
破 損	○	○
シートバックの傾き	○	—
頭部のはみ出し	○	—
頭部の前方への移動量	—	○
頭部に生じる力	—	○
胸部に生じる力	○	○
その他の事象 (腹部圧迫計測結果含む)	なし	なし
<b>評価</b>	<b>優</b>	<b>普通</b>

使用性評価試験の評価



腹部圧迫の計測結果

腹部合計荷重値  
0.384kN



腹部合計荷重値が最大となった時の圧力分布図



肋骨下端  
肋骨上端



(単位:kpa)